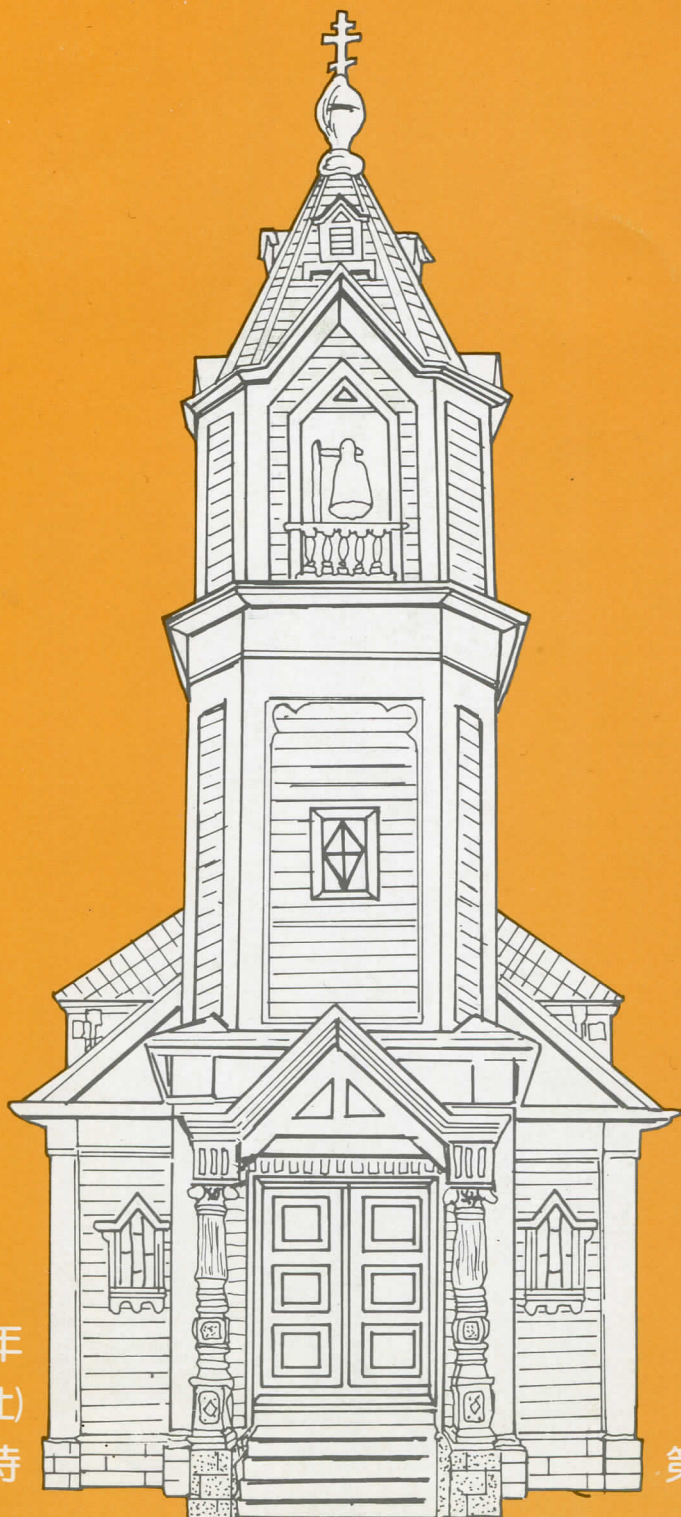


京都混声合唱団定期演奏会

# J.S.バッハ：マタイ受難曲



1978年  
5月27日(土)  
午後6時

京都会館  
第1ホール

主催 京都混声合唱団・(財)京都会館サービスセンター 後援 京都市・京都府合唱連盟

## ごあいさつ

風薫る青葉若葉の折から、皆様のご来臨を辱うし、音楽につながるこの一夕を共に過すことのできます喜びを深謝申し上げます。

前回の演奏会の後、澎湃として起った“マタイ受難曲”への志向止み難く、昭和25年全曲演奏以来の企画を実行することになりました。当時の団員数名も現役として健在であり、燃えるような意気込みで精魂を尽くして参りましたものの、遅々たる歩みのうちに今宵を迎えることになりました。全員の総力結集と一致練磨によるよりよき結実を、どこまで皆様にお贈りできますことか、期待と畏れの錯綜する思いでございます。

未熟ではございますが、努力と精進の結晶を披瀝して、ご批判とご叱正をいただき、一層の充実と飛躍への契機に致したいと思います。

幸いに京都市並びに京都府合唱連盟の力強いご後援のもとに、京都市交響楽団、京都市少年合唱団のご協力をいただき、独唱陣には当代屈指の方々によって錦上花を添えていただくことを感謝致しますと共に、絶えず格別のご配慮ご尽力に預りました上村けい先生、佐々木成子先生、林達次先生に、厚くお礼を申し上げます。

なにとぞ今後とも温かいご理解とご鞭撻のほどを心からお願い申し上げます。

昭和53年5月27日

京都混声合唱団



京都混声合唱団50周年記念演奏会(昭和50年10月)

# プログラム

ヨハン セバスティアン バッハ

## 「マタイ受難曲」

JOHANN SEBASTIAN BACH : Matthäus-Passion BWV 244

独 唱 テノール 鈴木 寛一 (福音史家<エヴァンゲリスト>  
レシタティーヴォ・アリア・証人)  
バリトン 田島 好一 (イエス)  
バ ス 山本 禎二 (レシタティーヴォ・アリア  
ユダ・ペテロ・大祭司・ピラト)  
ソプラノ 常森 寿子 (レシタティーヴォ・アリア  
ピラトの妻・女中A)  
アルト 辻 宥子 (レシタティーヴォ・アリア  
証人・女中B)

合 唱 京 都 混 声 合 唱 団

京 都 市 少 年 合 唱 団

管弦楽 京 都 市 交 響 楽 団

独奏 バイオリン 尾花 清光・西村 順吉  
フルート 伊藤 公一  
オーボエ 呉山 平煥  
イングリッシュホルン 横 和美・駒ヶ嶺重成

チェンバロ 田中 美鈴

パイプオルガン 津田 能人

オルガン 八木万里子

指 揮 青 山 政 雄

## メッセージ

### 感慨もひとしお

上村 けい

今でこそ「マタイ受難曲」は、日本でも各地でそれぞれの合唱団が意欲を傾けて取り組むようになりましたが、昭和25年、京都混声が主体になって日本で初演した事は、まさに画期的な事でありました。もちろん京都の主な合唱団のご協力を得てできた事ではありますが、最も力を入れて下さった同志社の森本芳雄さんは、もはや故人となってしまわれました。経済面では、当時京都市の社会教育課におられた米田先生のご援助によってできた事を、忘れることができません。演奏面、経済面であれほど困難な仕事をやった事は、私の「めくら蛇におじず」の例で、今から考えるとまったく冷汗ものであります。しかし山田和男さんの懇篤な指揮でこれを歌いあげた時の感激は、メンバー一同言葉もないほどで、それが長い間続いていました。

それから30年近くたった今、また延々と50余年の歩みを続けるわが京混が、その頃の感激にひたった方達を主体として、この曲を歌うとは、私にとっても何という深い感慨でありましょう。なにしろ、この曲は難曲の大曲、どうかほんとうのよい演奏によって、聴く人にその真髄にふれていただくようにと、ひたすら念願するものであります。

京都府合唱連盟理事長 吉村 信良

3年前に、京都混声合唱団が創立15周年を記念して京響を招いてモーツァルトの“レクイエム”を演奏したとき、そのすばらしさに感動するとともに、この日本でももっとも伝統ある一般合唱団が、いつまでも末永く合唱界をリードしていつてくれることを強く祈念いたしました。そしてきょう、2年間あっためたる名曲、J. S. バッハのマタイ受難曲を第一級のソリストと共に堂々と演奏されるあたり、さすがの感を深くしています。

一週間前、京都府合唱連盟では創立15周年を記念して第15回合唱祭をこの会場で開きました。その催しの中で、15年間一度も欠けずに、合唱祭のステージを踏んだ個人を表彰いたしました。当然のことながら、京都混声の方がもっとも多かったのです。そしていちばん嬉しいことは、そういった息の長いメンバーの皆さんが、きょうの演奏会の準備についても常に第一線に立っていらっしゃることでした。

京都では、皆さんのような歴史を誇る合唱団と新進気鋭の合唱団とがお互いに高めあいながら手をつないで進んでいます。どうか、今後とも合唱界の指導的立場にたってみなをリードしていつて下さるよう心からお願いいたします。

演奏会おめでとうございます。

## プロフィール



＊テノール 鈴木寛一<すずき・かんいち>

東京芸術大学卒業、長坂好子氏に師事。在学中から宗教音楽に深い関心を持ち、惜しまれながらも活動を古典と宗教音楽の研究に限っていたが、1967年春、指揮者岩城宏之氏に認められ、「ドン・ジョバンニ」のドン・オッターヴィオでオペラ界にデビュー。

以来「蝶々夫人」ピンカートン、「セヴィリアの理髪師」アルマヴィヴァ伯爵、「愛の妙薬」ネモリーノ、「ミカド」ナンキプー、「赤い陣羽織」おやじ、「こうもり」アイゼンシュタイン、「フィガロの結婚」バジリオ等数多くのオペラに出演、歌唱でわが国第一線テノールとしての地位を不動のものとした。

オペラ以外でもN響「メサイア」「四季」「モーツァルトのレクイエム」、その他各交響楽団と「第九」をはじめ、「ミサソレムニス」「クリスマスオラトリオ」「マタイ受難曲」のエバングelistなどの宗教曲のソリストとして、その活躍はまことにめざましい。京響とのマタイ協演は昨年に次いで2度目。1976年、第4回ウインターワールドオペラ賞を受賞。二期会会員。



＊バリトン 田島好一<たじま・こういち>

国立音楽大学声楽科卒業、同声楽専攻科終了。ウィーンにおける第7回世界平和友好祭音楽コンクールに、日本代表として出場、入賞する。

1963年イタリアに留学、ローマ・サンタチェチリア音楽院を首席で卒業。1965年ジュネーブ国際音楽コンクール第2位、イタリア・ジュー国際音楽コンクール第1位、スペイン・バルセロナ国際音楽コンクール第2位と、輝かしい成果を収める。1967、71年には来日したイタリア歌劇団と協演、1972年秋には外務省派遣でイタリアに行き、ローマ、ナポリ、ミラノでリサイタルを行ない、好評を博す。1976年、東京で恩師ファバレットの伴奏でリサイタル、東芝FMIにて「日本の歌」を収録。

レパートリーも日本の歌、外国の歌と幅広く、「出船」「平城山」「九十九里浜」「帰れソレント」「さらばナポリ」等々、オペラでは「フィガロの結婚」「椿姫」「カルメン」等、ベートーベンの「第九」ヴェルディの「レクイエム」の演奏も多きに及んでいる。



＊バス 山本禎二<やまもと・ていじ>

京都市生れ。京都学芸大学卒業、佐藤清、長坂好子の両氏に師事。

NHKの合唱放送を中心に、イタリア歌劇団の日本公演ほか、各地の労音出演などに情熱を注いで20年を経過、1971年以降ソリストとしても研鑽を積み、近畿一円の学校児童および全国の親子劇場のための公演活動に、一年の大半を費している。

オペラ演歴の主なもの、「カバレリア・ルスティカーナ」のアルフィオ、「フィガロの結婚」の主役、「ドン・パスクワレ」の主役、「ヘンゼルとグレーテル」の父親、「バリアッチ」のトニオ、「ドン・ジョバンニ」のレポレロ、「酒吞童子考」の主役など。ほかに、オラトリオ「天地創造」のアダム、京都混声合唱団50周年記念演奏会などに出演。NHK大阪放送合唱団、アンサンブル・レネット、関西歌劇団に所属。



### ＊ソプラノ 常森寿子〈つねもり・としこ〉

東京芸術大学卒業、阿部幸次、浅野千鶴子、ジョルジョ・ファバレット、ロート・マーリングに師事。

1966年「カルメン」のミカエラでデビュー、その後NHK放送オペラ「暗い鏡」などに出演し、1968年渡伊、ローマのサンタチェチリア音楽院、シエナ、ミラノ、スイスのルガーノに留学し、1972年帰国。その間1970年、ロニーゴ国際コンクール第2位、ジュネーブ国際コンクール銀賞（第3位）を受賞。

帰国後は「フィガロの結婚」のスザンナ、「ドン・ジョヴァンニ」のツェルリーナなどを次々に演ずるほか、1973年にリサイタルを2回開き、N響定期や、京響その他のオーケストラとの協演で、コンサートでも活躍を続けている。また最近では、1977年二期会オペラで「フィデリオ」のマルツェリーネ、「ルチア」のルチアを歌った。

1977年、ウイナーワルドオペラ賞ならびに第9回鳥井賞受賞。二期会会員。



### ＊アルト 辻 宥子〈つじ・ゆうこ〉

オーストラリアのシドニー州立音楽学校を経て、国立音楽大学卒業、同専攻科を修了。エリザベス・トッド、佐々木成子、武岡鶴代、西内静の諸氏に師事。

1968年、二期会研究生「ヴォーカルコンサート」等に出演、1969年、第4回民音コンクール声楽第3位入賞、同年秋よりウィーンに留学。1970年、ミュンヘン国際音楽コンクール声楽部門第3位入賞（1位なし）、1971年、バルセロナのマリア・カナルス国際コンクール声楽部門第2位入賞、またオランダのヘルトゲンボッシュ国際コンクールではアルト部門第1位、総合順位でも第1位を獲得し、その後、RCAのレコーディング（ラモー曲「カストルとホルクス」ヘンデル曲「ユダ・マカベウス」）、コンサート（マルタン曲「トリスタンとイゾルデ」バッハ曲「ヨハネ受難曲」）などで活躍している。

帰国後、1974年に「マクベス」のマクベス夫人を演じ、絶賛された。二期会会員。

### ＊パイプオルガン 津田能人〈つだ・よしと〉

1966年武蔵野音楽大学オルガン科卒業。

1974年より2年間、日独交換学生として奨学金を得て西ドイツへ留学、H・ハインツェ、P・ノイマン両氏に師事。ケルン市ヨハネス教会のオルガニストを勤め、同市にてオルガンリサイタルを行う。1976年帰国、NHKホールのオルガンを弾きFMで放送。

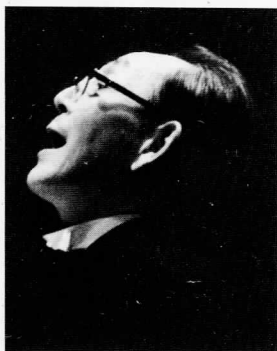
現在同志社高校教諭、同志社大学神学部講師、同志社教会オルガニスト。

### ＊オルガン 八木萬里子〈やぎ・まりこ〉

1957年京都市立音楽短期大学声学科卒業、声楽を鳥井晴子、ピアノを山田淳子氏に師事。

結婚後教会のオルガンをひくようになり、オルガンを津田能人氏に師事、1977年山田一雄氏にノミネイトされて、京響演奏会でマタイ受難曲のオルガンをひいた。

現在京都教会オルガニスト。



### ＊指揮 青山政雄〈あおやま・まさお〉

1917年姫路に生まれ、幼時から家族の嗜む琴、三味線、洋楽レコードに興味を有していた。後東京音楽学校に進み1939年卒業。山形師範学校に勤務。在任中応召により出征してビルマ方面に転戦。戦地では自然木や廃品などを工夫して楽器を造り、戦友を楽しませ自らも無聊を癒やす。

1947年復員して京都に居住し、上京中学校、市立堀川高校音楽コース専任などを経て、1952年京都市立音楽短期大学設立と共に助教授として招かれ、後、教授に昇任し、作曲指揮科を担当。また、京都混声合唱団設立当時の同声会先輩の推挙と要請により1952年より京混の指揮者となる。1963年大学並びに京混を辞して「わらび座」の音楽指揮に当る。1967年再び帰洛して居を定め、名古屋音楽学校講師となり、翌年九州大谷短期大学幼児教育科主任教授に就任。その間1970年より京混指揮者として復帰して今日に至る。

ほかに京都フィルハーモニー室内合奏団を育成し、あるいは失われゆく地方民謡の採譜保存に努める。1973年度カラヤンコンクール第1位の小泉和裕は門下生の逸材である。

---

### ＊京都市少年合唱団

1958年、全国で最初の公立少年合唱団として誕生、以来20年間「音楽による少年のための健全育成の場」として活動をつづけ、合唱を通じて団員の資質の向上をはかり、演奏活動によって市民にその滑らかな歌声を送ってきた。その成果によって1973年11月、京都市教育委員会から教育功労者表彰を受けている。

団員は、小学校5年生から中学校3年生までの男女 333名、指導者は、前田亮、奥田富美、森富美子、高西喜久子、杉浦修、坂井百合子、河内やよる、小谷まり、浅田五十鈴、武市京子の10氏。

最近の演奏会は「京都市少年合唱団第18回終了演奏会」(53年1月21日)、京響との協演は1975年以來のニューイヤークンサート、京響フェスティバル、第200回記念定期演奏会と数えて今回が7回目、そのほか、ウィーン、パリ木の十字架、ウィーンの森、オーベルンキルヘンの外国少年合唱団との交歓演奏会をはじめ、各種演奏会に賛助出演。

---

### ＊京都市交響楽団

1956年5月、わが国唯一の地方自治体交響楽団として誕生、京都市民、特に青少年の情操教育に資するとともに、交響楽団そのものを新しい文化財に育成することを標ぼうして、初代常任指揮者ドイツ人カール・チェリウスのもと、真摯な練習と演奏活動に入った。

1958年には、二期会と提携した「モーツァルト・オペラシリーズ」の連続公演によって毎日音楽賞を得、61年には文部省芸術選奨を受賞。その後常任指揮者は、ハンス・ヨアヒム・カウフマン、森正、外山雄三、渡辺暁雄、山田一雄とひきつがれ、1976年からは首席指揮者にニクラウス・ヴィス、78年ステュワート・カーショーを迎え、現在に至っている。

1972年12月の第150回定期演奏会では、オネゲルの名作「グピテ王」を日本で初演して注目を浴び、73年からは京都市文化事業基金の制定に伴い、わが国の有名作曲家に毎年新曲を一曲づつ依頼し、12月のベートーベン「第九交響曲の夕べ」で披露している。

1978年5月をもって、定期演奏会は205回を数える。

## 曲目解説

### J.S.バッハ：マタイ受難曲 BWV.244

京都女子大学助教授 中原 昭 哉

キリスト教について関心のないひとでも、レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晚餐」は知っているひとが多い。ミラノのサンタ・マリア・デルレ・グラーツィエ修道院の食堂の壁面に描かれたレオナルドのこの壁画は、第2次世界大戦の戦禍から奇跡的に救われて現存している。「偉大な画家はいっさいのものを描くことができねばならぬ」と言ったレオナルドは、マタイ伝第26章に記されている章句「イエスこれらの言をみな語りおえて、弟子たちに言い給う。『なんじらの知ることく、二日の後は、過越の祭なり、人の子は十字架につけられんために売らるべし』」を、何物にも変え難い気品と愁いにみちた表現で描いた。ユダの裏切りを見抜き、弟子たちの心の弱さをつかんだイエスの表情は、死を予知しつつも多くの人々の罪の赦しを願う愛と力にみちている。

J・S・バッハの「マタイ受難曲」は、この美術史上比類ない「最後の晚餐」に対して、音楽史上比類ない壮大な宗教音楽である。1493～97年に作られたレオナルドの「最後の晚餐」が、イタリア・ルネッサンス期の芸術の頂点を示す真に芸術的な宗教画であるのに対して、1729年4月15日聖金曜日にライプツィヒの聖トマス教会で初演されたバッハの「マタイ受難曲」は、バッハの教会音楽の頂点を示す真に芸術的な宗教音楽である。

キリストの教えを知らないひとは「最後の晚餐」を正しくみるできないように、この「マタイ受難曲」をきくためには、聖書の受難文を理解することが第一である。この受難曲の詞は、新約聖書のマタイ伝第26、27章のルーテルによるドイツ語訳をとってエバングェリスト（福音書朗読者）の叙唱にあてられ、その他のコラール、アリア、レシタティーヴォなどは、ピカンダーの台本によっている。全78曲は大きく2部に分けられ、第1部はイエスの捕縛まで35曲、第2部はイエスの裁判、処刑、埋葬まで36～78曲があげられている。演奏時間3時間近い壮大な「マタイ」を初めてきくひとは、細部にこだわってきくよりも、マタイ伝の大意によってバッハの音楽をきくことが大切であろう。

次に「マタイ受難曲」の大意を示す。

#### <第1部>

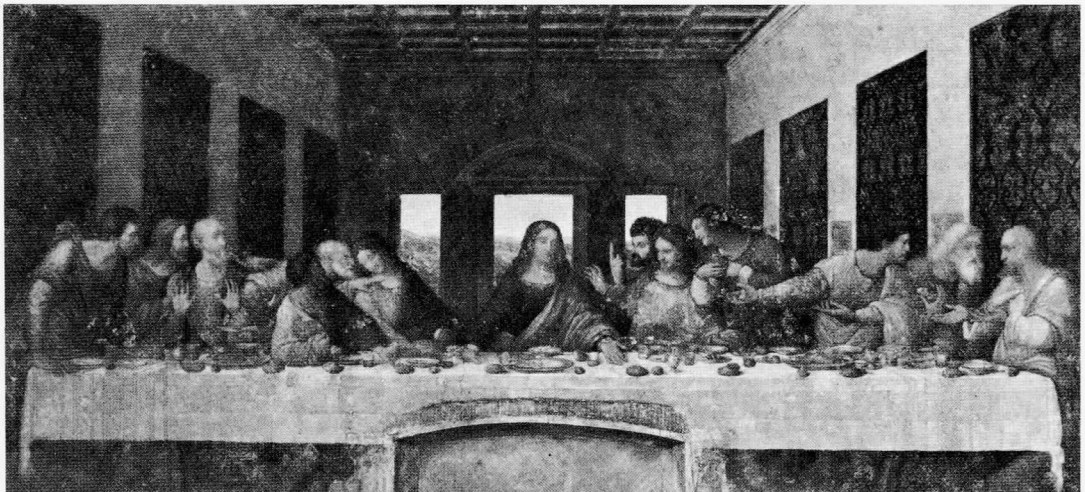
1. 二つのオーケストラによる大序曲、「来よ、娘らよ、ともに悲しまん！」に始まる合唱によって、イエスの受難がうたわれる。「見よ彼を！愛と恵みに 十字架を 身に荷える。」
2. 「人の子は十字架につけられんために売らるべし。」とイエスが言い給う。
3. イエスをいたむキリスト教徒のコラール。「主イエスよ、いずれの罪を犯し給いし？」
4. 祭司長や民の長老ら、イエスを殺そうとたくらむが……
5. 群衆の合唱で「祭の間は為すべからず、……」とうたう。
6. 「ある女、……貴き香油を持ちて、…イエスの頭に注げり。……」
7. 群衆の合唱「なぜ、かくみだりなる費えをなすか。……」
8. イエス「なんぞ、この女を悩ますか。……この女の我が体に香油を注ぎしは、わが葬むりの備えをなせるなり。……」
9. 愚かにも弟子たちが信心深いこの女の行為を妨げようとしたことに主の許しを乞う。
10. 「滴たり落つる我が涙は、心地よき芳味をばまことなる主に用意せん。」
11. ユダの裏切り。
12. 「血を注げ、聖き心よ！」ユダが毒蛇（罪びと）となって主を裏切るとうたう。
13. 除酵祭の初日、弟子たちイエスのもとに来て言う。
14. 群衆の合唱で過越の食事はどこにと問う。
15. 最後の晚餐。「誠に汝らに告ぐ、汝らのなかのひとり、われを売らん。」つづいて群衆の合唱で「主よ、我なるか。」“Herr, binich's?”



16. コラル、 「そは我ならん、贖なわん、」
17. イエスを売るユダ答えて言う 「ラビ、我なるか。」 “Bin ich's, Rab-bi?” イエス言い給う。 「汝の言える如し。」 “Du sagest's!”
18. 「たとい今イエス我より去ろうとも、……その肉とその血のいとも貴きをかれ我に去るに臨みて与えたり。」
19. 「ああ、主は我が身一人の住み家には天地より勝りて大きな家なるべし。」
20. オリーブ山で弟子たちに 「我よみがえりてのち、汝らに先立ちてガリレヤに往かん。」とイエスは予言する。
21. コラル、主を讃えてうたう。
22. イエス、ペテロに言い給う。 「今宵、鶏鳴く前に汝三たび我を否むべし。」ペテロ言う 「……汝を否まず。」弟子たち皆かく言えり。
23. コラル、主と苦難を共にしようとする弟子たちの心をうたう。
24. ゲッセマネでイエス弟子たちに言い給う。 「わが彼処に行きて祈る間、汝ら此処に坐せよ。」
25. イエスの死の苦しみを、コラルつきアリオゾで描く。
26. 「主のみ許に目覚めおらん。」と、テノールとオーボエ独奏とで弟子たちの心を描く。 「さらば我等の罪も眠らん。」と合唱が答える。
27. イエスの祈り。 「もし得べくば、この酒杯を我より過ぎ去らせ給え。」
28. イエスは父のみ前に伏して、心安く酒杯を、死の苦しみを飲み給う。
29. 主にならって十字架と酒杯を受けようとうたう。
30. イエス、弟子たちの許に来て 「汝らかく一時も我と共に目を覚ましおくこと能わぬか。」と告げ、再び行きて祈り給う。
31. コラル、 「神を信じ、抛り立つ者を神は棄てまじ。」
32. イエスの逮捕、 「起きよ、我ら往くべし。みよ、我を売る者近づけり。」
33. 結びの合唱、 「主を放せ」「打ち碎け、……かの不義なる裏切者を。」
34. イエス言い給う。 「汝の剣をもとに収めよ、すべて剣を取る者は剣にて亡ぶなり。」
35. コラル、 「我らが罪を担うべく、十字架を担いたまえる」主イエスを讃えて第一部を結ぶ。

〈第2部〉

36. 「ああ、主イエスは去り行き給いし！」アルトがただひとり、見捨てられ、さ迷う姿でうたう。群衆の合唱が 「汝が友いずこの方へ行きたるか、おお、世にもいとうるわしき女よ？」とうたい出す。



37. 大祭司カヤパの許にイエスを曳き、偽りの証拠を求めるが、なにも得られない。
38. コラール、「この危機に、偽りの罫より我を守らせ給え。」
39. 大祭司は人々の証言に対して答えないのかと問うが、イエスは黙っておられる。
40. イエスの沈黙のアリオーズ、「主イエス黙し給う、偽りの空言に。」
41. イエスの忍耐のアリア、「耐え忍べ、偽りの舌、我を刺すとも。……神は我が心の罪に染まぬを証しせん。」
42. 大祭司「汝はキリスト、神の子なるか。」イエス「汝の言える如し。」
43. 彼らイエスに唾し、なぐり打つ。
44. コラール、「かくも主を打ちしは誰ぞ」
45. ベテロの否認、「汝もイエスとともにいたり。」ベテロ「我は汝の言うことを知らず。」
46. 「その時やがて鶏鳴きぬ。」ベテロ、イエスの予言を思い出し、泣く。
47. アリア「憐れみ給え、我が神よ、我が涙のため。」
48. コラール、「神よ、再びみ前に帰るべし。」
49. 50. ユダの罰「われ、罪なき血を売りて、罪を犯したり。」ユダ、首をくくる。
51. 「我が主イエスを我に返せ！」
52. 総督ピラト「汝はユダヤ人の王なるか。」イエス「汝の言うが如し。」
53. コラール、「まことの神は啓くなり、汝の踏み行くべき道を。」
54. ピラト「イエスを我いかに為すべきか。」彼ら皆言う「十字架につくべし。」
55. コラール、「いとも恐しきこの刑罰。」
56. ピラト「彼何の悪事をなしたるか。」
57. 「主は我らに恵みを垂れぬ。……我が主は他には為し給わざりき。」
58. アリア、「愛によりて我が救い主死に就くなり、ひとつの罪も犯し給わぬを。」
59. ピラト、バラバを釈放し、イエスを十字架につけるために彼らに渡す。
60. 答うちのアリオーズ、キリストは答うたれる。
61. アリア、「我が頼伝う我が涙の甲斐なければ、せめて汲み取れ我が心を！」
62. 虐待と十字架の道
63. コラール、「貴き頭、血と傷と痛みと侮どり受けしなり！」
64. 十字架の道とはりつけ。
65. 「もとより我らの肉と血は十字架の上に就かまほし。」
66. 十字架の道のアリア。
67. ゴルゴタで十字架につけられたイエスと祭司長らの嘲り。
68. イエスとともに十字架につけられた殺人者どもの罵り。
69. ゴルゴタのアリア、「ああ、ゴルゴタ！」
70. 「来たれ！何処に？主イエスのみ腕のなかに！」
71. 三時頃イエス大声に叫び言い給う「エリ、エリ、ラマ、サバクタニ。」「イエス再び大声に叫びて、逝き給えり。」
72. コラール、「いつの日か我逝かん時。」
73. 「神殿のとばり」のレシタティーヴォ、「まことに彼は神の子なりき。」ヨセフはピラトからイエスの屍を受けとる。
74. 黄昏のアリオーズ、主イエスへの感謝の気持をうたう。
75. 「我が心、清くあれ、我が手にてイエスを葬らん。」
76. ヨセフ、イエスの屍を埋葬する。イエスの復活を恐れる長老たち、墓石を封印し番人をおく。
77. 「主イエスよ、安らかに眠れ！」独唱と合唱による主への感謝と訣別。
78. 結びの合唱。

## 出演メンバー

**\*ソプラノ**

（Faint names and details for Soprano members, including names like 山本 由美, 佐藤 美穂, etc., and their respective roles or affiliations.)

**\*アルト**

（Faint names and details for Alto members, including names like 田中 真知子, 鈴木 美穂, etc., and their respective roles or affiliations.)

**\*テノール**

（Faint names and details for Tenor members, including names like 佐藤 大輔, 田中 真知子, etc., and their respective roles or affiliations.)

**\*バス**

（Faint names and details for Bass members, including names like 山本 由美, 佐藤 美穂, etc., and their respective roles or affiliations.)

**団員募集**

合唱を愛する方々の入団をお待ちしております。来年2月には京響定期演奏会でフォーレ「レクイエム」を演ずる予定です。

＜練習日＞ 毎週金曜日 よる7時～9時      ＜練習場＞ 河原町五条下ル西側 聖ヨハネス教会  
 ＜連絡先＞ 牛丸絃一 (451)8984      小梶勝也 (781)9344

**協 賛**

(アイウエオ順)

浮羽 試 錐 工 業 株 式 会 社  
 株式会社 お            ぐ            ら  
 亀                      末                      広  
 関西技術開発興業株式会社  
 関西ボーリング株式会社  
 京都 試 錐 工 業 株 式 会 社  
 近畿ボーリング株式会社  
 京福電気鉄道株式会社  
 株式会社 建設企画コンサルタント  
 興 和 新 薬 株 式 会 社

三 共 株 式 会 社  
 塩 野 義 製 薬 株 式 会 社  
 中 外 製 薬 株 式 会 社  
 月                      ケ                      瀬  
 東洋地質調査株式会社  
 株式会社 肥            前            屋  
 ビヤケラー・ニューキョート  
 藤 沢 薬 品 工 業 株 式 会 社  
 株式会社 森 川 鑿 泉 工 業 所  
 森 下 製 薬 株 式 会 社

